

韓国併合と満州への侵出



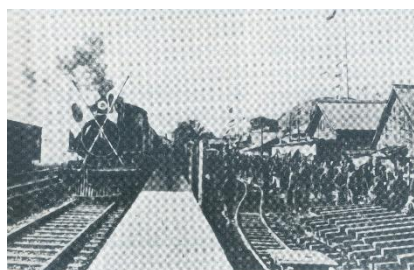
ポーツマス講和会議

ポーツマス条約で、ロシアは日本の朝鮮における優越権を認め、樺太の南半分を日本の領土とし、ロシアが持っている旅順・大連の租借権、南満州の鉄道と附属の権利を日本に譲ることになりました。ポーツマス条約が結ばれると、日本は韓国(朝鮮は1897(明治30)年に国号を韓国と改めた)に統監府を置き、韓国を保護国として、その内政・外交・軍事を支配しました。



『読売新聞 1910.8.30 日号』

1910年8月、韓国を日本に併合する日韓併合条約を調印させ、朝鮮を植民地としました。そして韓国を朝鮮と改め、朝鮮総督府を京城に置きました。



日韓併合条約報道

朝鮮では、1909(明治42)年、安重根が初代統監伊藤博文をハルビンで暗殺するなど、激しい抵抗運動が全土で起こりました。しかし、

安来から奉天間の満鉄線開通(1911(明治44)年)(写真出典「日本の歴史6」ほるぷ出版)

第一次世界大戦・・・英独の対立に30

数カ国がまきこまれ

1914(大正3)年夏、オーストリアの皇太子夫妻がサラエボでセルビアの青年に暗殺されました。これをきっかけに4年間にわたって2つの帝国主義陣営(英仏露、独オーストリア)の対立がヨーロッパを戦乱にまきこみました。

ヨーロッパ全土は焦土と化しました。大型戦車や無差別に爆弾を落とす爆撃機、毒ガス兵器といった、人道上許されない大量破壊兵器によって2000万人が犠牲になりました。これ以後、戦争は「総力戦」「消耗戦」の性格をおび、惨劇を飛躍的に増大させました。

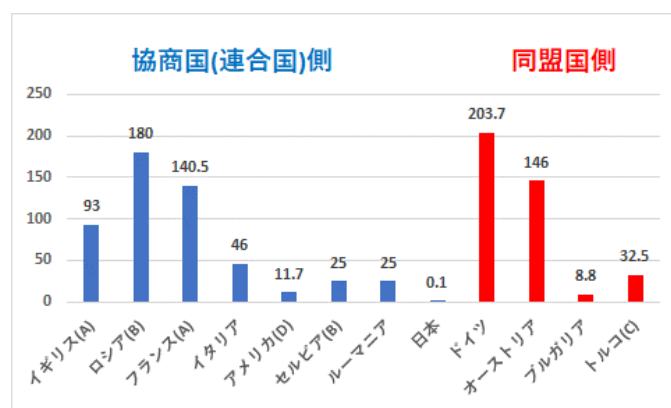
戦車(タンク)



ガスマスク着用兵士

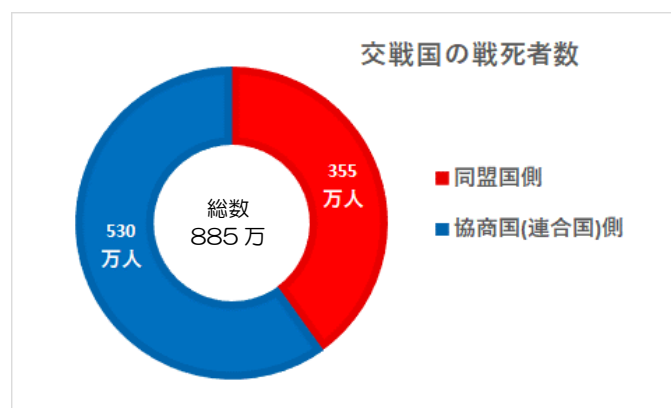


(写真出典『ドイツの歴史』河出書房新社)



交戦国の戦死者数(民間人を含まず)

(A)植民地軍を含む (B)推定値 (C)病死者を含めると約80万人 (D)病死者を含むフランス (A)ロシア (B)イギリス (A)



(出典:『ドイツの歴史』河出書房新社)